



平成22年6月期 第3四半期決算短信

平成22年5月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ドン・キホーテ
コード番号 7532 URL <http://www.donki.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 成沢 潤治

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 高橋 光夫

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日 —

TEL 03-5725-7588

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年6月期第3四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第3四半期	372,271	2.3	16,577	29.3	16,620	48.4	9,392	122.2
21年6月期第3四半期	363,941	—	12,824	—	11,196	—	4,226	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第3四半期	135.33	126.40
21年6月期第3四半期	61.12	61.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年6月期第3四半期	318,010	98,580	30.6	1,396.54
21年6月期	297,527	89,972	29.9	1,284.15

(参考) 自己資本 22年6月期第3四半期 97,188百万円 21年6月期 88,839百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	10.00	—	13.00	23.00
22年6月期	—	10.00	—		
22年6月期 (予想)				13.00	23.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	497,000	3.4	19,500	13.6	19,200	20.1	10,800	26.3	155.19

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年6月期第3四半期	72,022,209株	21年6月期	72,022,209株
② 期末自己株式数	22年6月期第3四半期	2,429,873株	21年6月期	2,840,970株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年6月期第3四半期	69,406,778株	21年6月期第3四半期	69,149,332株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成21年7月1日～平成22年3月31日)におけるわが国経済は、企業収益の改善が見え始めているものの、雇用情勢は依然として厳しい状況が続き、消費マインドはおおむね横ばいで推移しました。

小売業界におきましては、雇用者所得の減少や景気低迷による先行き不安感を背景とする消費者の生活防衛意識や低価格志向の高まりとともに、業種・業態を問わず低価格化競争が激化するなど、デフレによる経済活動への悪影響が顕在化しております。

このような状況の中で、当社は「お客さま第一主義」を実践する業態創造企業として、高品質のアミューズメントとサービス及びプライスを進化させながら、お客さまに「感激」していただける店舗運営を実現していくため、さまざまな施策を実行してまいりました。

また、食料品や日用雑貨品といった最寄品を中心に品揃えの充実を図りながら、リーズナブルな価格訴求を行うことにより、お客様支持率を高めました。

さらに、ひとりでも多くのお客さまに「感激」していただけるよう、当期も機動的かつ効率的な出店及び改装を推進するとともに、プライベートブランド「情熱価格」の販売を拡大するなど、グループ総合力を強化してまいりました。

平成21年7月から平成22年3月末までの店舗の状況につきましては、関東地方に4店舗(東京都一ドン・キホーテ中目黒本店、同蒲田駅前店、埼玉県一同西川口駅前店、栃木県一同小山駅前店)、九州地方に2店舗(佐賀県一同佐賀店、宮崎県一同宮崎店)を開店し、その一方で、事業効率の見直しを進めたことから、6店舗(MEGAドン・キホーテ藤沢店、ビッグワン北店、長崎屋新津店、同瓢箪山店、同加古川店、同八千代台店)を閉店しました。

この結果、平成22年3月末時点における当社グループの店舗数は、218店舗(平成21年6月末時点 218店舗)となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,722億71百万円、営業利益165億77百万円、経常利益166億20百万円、四半期純利益93億92百万円となりました。

事業別セグメントについては、①ディスカウントストア事業における売上高は3,153億46百万円、営業利益は134億74百万円、②総合スーパー事業における売上高は438億57百万円、営業損失は1億59百万円、③テナント賃貸事業における売上高は135億66百万円、営業利益は33億62百万円、④その他事業における売上高は20億38百万円、営業利益は4億19百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(単位：百万円未満四捨五入)

	平成21年6月前期末	平成22年3月当四半期末	増減額
資産合計	297,527	318,010	20,483
負債合計	207,555	219,430	11,875
純資産合計	89,972	98,580	8,608

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末(平成22年3月31日)における財政状態において、総資産は前連結会計年度末(平成21年6月30日)と比較し、204億83百万円増加して、3,180億10百万円となりました。これは主として、現金及び預金が155億9百万円、新規出店に伴い有形固定資産が77億13百万円それぞれ増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末と比較し、118億75百万円増加して、2,194億30百万円となりました。これは主として買掛金が89億94百万円増加したことに加え、償還に伴い転換社債が205億31百万円減少する一方で、当該転換社債の繰上償還ならびに新規出店に伴う資金調達として、社債が136億60百万円、コマーシャルペーパーが84億97百万円、借入金が22億36百万円それぞれ増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末と比較し、86億8百万円増加して、985億80百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により得られた資金は、純利益の計上、減価償却費の計上及び仕入債務の増加等により、258億51百万円となりました。

投資活動に使用した資金は、定期預金の預入及び有形固定資産の取得による支出等により、234億63百万円となりました。

また、財務活動により得られた資金は、転換社債の繰上償還による支出が199億50百万円となる一方で、借入金の増加、社債及びコマーシャルペーパーの発行等により30億90百万円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、474億40百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年2月5日付の「平成22年6月期 第2四半期決算短信」で公表しました平成22年6月期の通期の連結業績予想から変更はありません。

当社グループが事業を遂行している限り、様々なリスクや不確実性が伴います。そのため、実際の業績に影響を与えうる重要な要因として、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境の著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況について前連結会計年度末から大幅な変動がないと認められるため、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,072	42,563
受取手形及び売掛金	3,667	4,612
商品及び製品	71,693	70,651
その他	7,193	6,150
貸倒引当金	△159	△174
流動資産合計	140,466	123,802
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	50,689	49,923
工具、器具及び備品(純額)	9,207	8,789
土地	61,806	55,028
その他(純額)	389	638
有形固定資産合計	122,091	114,378
無形固定資産	2,718	2,960
投資その他の資産		
投資有価証券	10,705	12,055
敷金及び保証金	34,475	36,846
その他	10,329	10,252
貸倒引当金	△2,774	△2,766
投資その他の資産合計	52,735	56,387
固定資産合計	177,544	173,725
資産合計	318,010	297,527

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	50,056	41,062
短期借入金	2,247	11,000
1年内返済予定の長期借入金	11,609	9,696
1年内償還予定の社債	41,507	9,695
1年内償還予定の転換社債	8,625	20,171
コマーシャル・ペーパー	8,497	—
未払法人税等	3,615	3,354
ポイント引当金	191	386
その他の引当金	171	52
その他	15,783	15,467
流動負債合計	142,301	110,883
固定負債		
社債	35,101	53,253
転換社債	350	9,335
長期借入金	22,651	13,575
デリバティブ債務	2,637	2,233
退職給付引当金	332	472
役員退職慰労引当金	369	162
負ののれん	3,520	4,163
その他	12,169	13,479
固定負債合計	77,129	96,672
負債合計	219,430	207,555
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,977	14,977
資本剰余金	16,351	16,289
利益剰余金	73,657	65,806
自己株式	△4,256	△4,976
株主資本合計	100,729	92,096
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,469	△1,856
為替換算調整勘定	△2,072	△1,401
評価・換算差額等合計	△3,541	△3,257
新株予約権	0	1
少数株主持分	1,392	1,132
純資産合計	98,580	89,972
負債純資産合計	318,010	297,527

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)
売上高	363,941	372,271
売上原価	267,432	278,764
売上総利益	96,509	93,507
販売費及び一般管理費	83,685	76,930
営業利益	12,824	16,577
営業外収益		
受取利息及び配当金	416	434
負ののれん償却額	644	643
その他	807	1,026
営業外収益合計	1,867	2,103
営業外費用		
支払利息	923	1,232
デリバティブ評価損	2,155	404
その他	417	424
営業外費用合計	3,495	2,060
経常利益	11,196	16,620
特別利益		
固定資産売却益	63	442
受取補償金	150	—
ポイント引当金戻入額	41	—
転換社債償還益	—	221
その他	132	218
特別利益合計	386	881
特別損失		
投資有価証券評価損	2,272	756
減損損失	494	14
店舗閉鎖損失	883	261
和解金	—	354
その他	253	398
特別損失合計	3,902	1,783
税金等調整前四半期純利益	7,680	15,718
法人税、住民税及び事業税	4,331	6,550
法人税等調整額	△1,156	△485
法人税等合計	3,175	6,065
少数株主利益	279	261
四半期純利益	4,226	9,392

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,680	15,718
減価償却費	6,528	7,106
負ののれん償却額	△644	△643
引当金の増減額 (△は減少)	△806	△16
受取利息及び受取配当金	△416	△434
支払利息	923	1,232
デリバティブ評価損益 (△は益)	2,155	404
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△442
転換社債償還損益 (△は益)	—	△221
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,272	756
売上債権の増減額 (△は増加)	△55	944
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△846	△1,134
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,645	9,162
その他	1,098	962
小計	21,534	33,394
利息及び配当金の受取額	186	318
利息の支払額	△945	△1,350
法人税等の支払額	△5,300	△6,511
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,475	25,851
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△20,298
定期預金の払戻による収入	—	10,241
有形固定資産の取得による支出	△15,232	△16,371
有形固定資産の売却による収入	259	1,371
敷金及び保証金の差入による支出	△1,911	△928
敷金及び保証金の回収による収入	2,335	2,031
投資有価証券の取得による支出	△7,745	△50
投資有価証券の売却による収入	1,227	27
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,893	—
子会社株式の追加取得による支出	△648	—
投資事業組合への出資による支出	△1,000	—
匿名組合出資金の払戻による収入	—	825
その他	△1,440	△311
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,048	△23,463

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,050	△8,754
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	5,492	—
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	—	8,469
長期借入れによる収入	3,900	19,702
長期借入金の返済による支出	△6,291	△8,713
社債の発行による収入	14,000	23,200
社債の償還による支出	△6,708	△9,540
転換社債の償還による支出	—	△19,950
配当金の支払額	△1,521	△1,595
その他	△180	271
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,742	3,090
現金及び現金同等物に係る換算差額	△167	△140
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△998	5,338
現金及び現金同等物の期首残高	38,086	42,040
連結子会社と非連結子会社との合併による現金及び現金同等物の増加額	—	62
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,088	47,440

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年7月1日 至平成21年3月31日）

	ディスカウントストア (百万円)	総合スーパー (百万円)	テナント賃貸 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	279,926	70,868	11,038	2,109	363,941	—	363,941
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	419	264	1,689	1,406	3,778	(3,778)	—
計	280,345	71,132	12,727	3,515	367,719	(3,778)	363,941
営業利益又は営業損失 (△)	10,821	△1,602	3,096	426	12,741	83	12,824

当第3四半期連結累計期間（自平成21年7月1日 至平成22年3月31日）

	ディスカウントストア (百万円)	総合スーパー (百万円)	テナント賃貸 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	315,143	43,854	11,909	1,365	372,271	—	372,271
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	203	3	1,657	673	2,536	(2,536)	—
計	315,346	43,857	13,566	2,038	374,807	(2,536)	372,271
営業利益又は営業損失 (△)	13,474	△159	3,362	419	17,096	△519	16,577

(注) ディスカウントストアに業態転換をした㈱長崎屋の店舗については、事業の種類別セグメント情報においてディスカウントストア事業に含めて記載しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年7月1日 至平成21年3月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年7月1日 至平成22年3月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年7月1日 至平成21年3月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年7月1日 至平成22年3月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。